

エコアクション 2 1 環境経営レポート



発行日：2021年6月30日

対象期間：2020年6月～2021年5月



株式会社フジタ建設コンサルタント

取組の対象組織・活動

(1) 名称及び代表者名

株式会社フジタ建設コンサルタント

代表取締役 藤田 達也

(2) 所在地

本社 〒771-0204 徳島県板野郡北島町鯛浜字原87-1

阿南営業所 〒774-0017 阿南市見能林町青木148-7

徳島営業所 〒771-0136 徳島市川内町平石古田261

(3) 環境管理責任者氏名及び担当者連絡先

責任者 管理部 総務課 係長

豊崎 純司

TEL:088-698-2155

E-mail junji-toyosaki@fujitacc.co.jp

担当者 管理部 総務課 参事

杉山 孝一

TEL:088-698-2155

E-mail koichi-sugiyama@fujitacc.co.jp

(4) 事業活動の内容

一般公共構築物に関する設計、測量、調査及び補償業務

登録事業名	登録番号
測量業	第14-1717号
建設コンサルタント	建01第453号
地質調査業	質29第1653号
補償コンサルタント	補30第189号
一級建築士事務所	第61086号
計量証明事業所	第75・76・86号

(5) 事業の規模

設立年月日 昭和41年6月1日

資本金 4千万円

売上高 14億3千万円

従業員数 99名

延べ床面積 2578㎡

(6) 事業年度

6月～翌年5月

(7) 認証登録対象範囲

全社・全組織

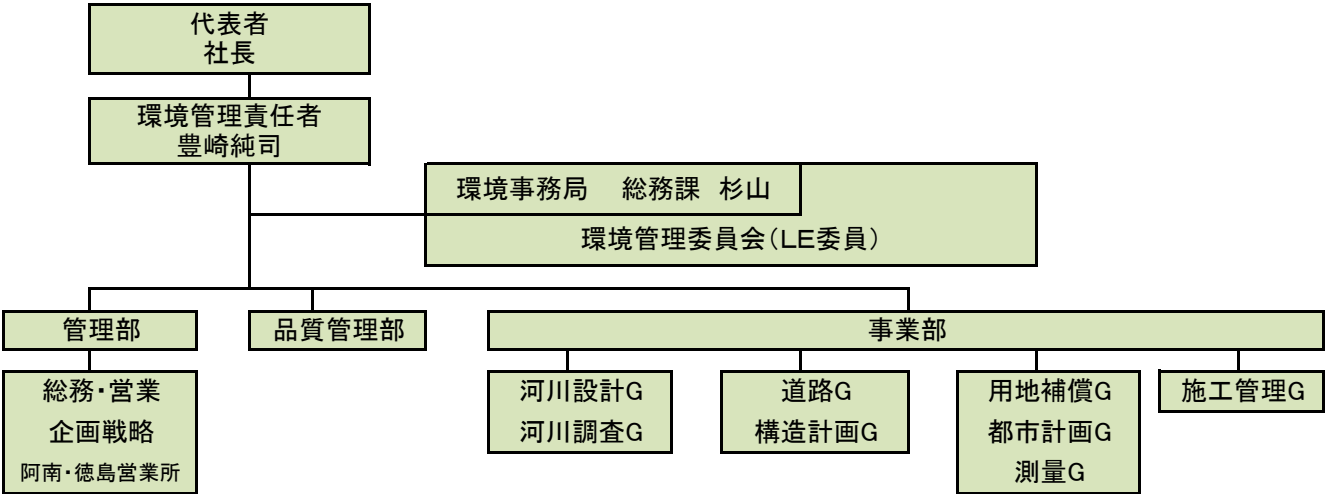
(8) レポートの対象期間及び発行日

対象期間 令和2年6月1日～令和3年5月31日

発行日 令和3年6月30日

実施体制の構築

株式会社 フジタ建設コンサルタント
実施体制図及び役割・責任・権限表



	役 割 ・ 責 任 ・ 権 限
代表者（社長）	・環境経営に関する統括責任 ・環境経営システムの実施に必要な人、設備、費用、時間、技能、技術者を準備 ・環境管理責任者を任命 ・環境経営方針の策定・見直し及び全従業員へ周知 ・代表者による全体の評価と見直しを実施
環境管理責任者	・環境経営システムの構築、実施、管理 ・環境関連法規等の取りまとめ表を承認 ・環境経営目標・環境経営計画書を承認 ・環境活動の実績集計を承認 ・環境活動の取組結果を代表者へ報告 ・環境経営レポートの承認 ・是正、予防処置の勧告
環境事務局	・環境管理責任者の補佐 ・環境負荷の自己チェック及び環境への取り組みの自己チェックの実施 ・環境経営目標、環境経営計画書原案の作成 ・環境活動の実績集計 ・環境関連法規等取りまとめ表の作成 ・環境関連法規等取りまとめ表に基づく遵守評価の実施 ・環境関連の外部コミュニケーションの窓口 ・環境経営レポートの作成、公開（事務所に備付けと地域事務局への送付）
部門長	・自部門における環境経営システムの実施 ・自部門における環境経営方針の周知 ・自部門の従業員に対する教育訓練の実施 ・自部門に関連する環境経営計画の実施及び達成状況の報告 ・特定された項目の手順書作成及び運用管理 ・自部門の特定された緊急事態への対応のための手順書作成 ・テスト、訓練を実施、記録の作成 ・自部門の問題点の発見、是正、予防処置の実施
環境管理委員会（LE委員）	・特定された項目の運用管理及び記録の作成
全従業員	・環境経営方針の理解と環境への取り組みの重要性を自覚 ・決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動へ参加

環境経営方針

＜基本理念＞

- ・ 自然と人間の調和をめざし、企業活動の一環として社会的責任を果たすとともに地域社会の住みよい生活環境創りに貢献する。
- ・ 企業活動において、環境負荷の低減や環境に配慮した活動に取り組み、自主的、積極的な継続的改善に努める。
- ・ 社員の働く環境を継続的に改善し、健康で効率的に働ける職場を目指す。

＜行動指針＞

具体的に次のことに取り組むものとする。

- ① 電力・自動車燃料の消費に伴う二酸化炭素排出量の削減
- ② 廃棄物の３Ｒ（減量、再使用、再生利用）の推進
- ③ 水資源の節水
- ④ 社員の働く環境の改善の推進
- ⑤ 環境関連法規制や徳島県条例その他の遵守
- ⑥ 環境配慮型の設計
- ⑦ 会社周辺の道路・河川の清掃活動の推進
- ⑧ 環境方針を全従業員に周知徹底し、環境経営レポートにより公表する

制定日： 2011年2月1日

改定日： 2018年6月1日

代表取締役

藤田達也

環境経営目標及び環境経営計画

(1) 環境経営目標

1) 単年度目標

項目	単位	2017.6 ～ 2018.5	2020.6 ～ 2021.5
		基準年	目標
CO2 排出量	Kg-CO ₂ / 年	116,648	127,000
電力使用量	MJ / 年	1,410,600	1,677,400
燃料	MJ / 年	606,300	600,600
上水使用量	m ³ / 年	1,607	1,580
廃棄物排出量	t / 年	6.3	6.0
事務用紙使用量	t / 年	3.8	3.5
環境配慮型の技術提案	件 / 年	22	22
地域貢献	回 / 年	5	5

※ 削減率は、毎年0.3%とした。

※ 電力使用量 排出係数は、0.529Kg-CO₂/Kwhとした。

※ 2018年1月本社増床(1.5倍)のため、電力使用量を1.2倍とした。

2) 中長期目標(3～5年先)

項目	単位	2017.6 ～ 2018.5	2018.6 ～ 2019.5	2019.6 ～ 2020.5	2020.6 ～ 2021.5	2021.6 ～ 2022.5
		基準年	目標	目標	目標	目標
CO2 排出量	Kg-CO ₂ / 年	116,648	127,874	127,400	127,000	126,600
電力使用量	MJ / 年	1,410,600	1,687,600	1,682,500	1,677,400	1,672,300
燃料	MJ / 年	606,300	604,400	602,500	600,600	598,700
上水使用量	m ³ / 年	1,607	1,600	1,590	1,580	1,570
廃棄物排出量	t / 年	6.3	6.2	6.1	6.0	5.9
事務用紙使用量	t / 年	3.8	3.7	3.6	3.5	3.4
環境配慮型の技術提案	件 / 年	22	22	22	22	22
地域貢献	回 / 年	5	5	5	5	5

※ 削減率は、毎年0.3%とした。

※ 電力使用量 排出係数は、0.529Kg-CO₂/Kwhとした。

※ 2018年1月本社増床(1.5倍)のため、電力使用量を1.2倍とした。

環境経営目標の実績

本年度実績

項目	単位	基準年	2020年度			達成度合			
		2017.6 ~ 2018.5	前年実績	目標	実績	前年との比較		目標との比較	
			2019.6 ~ 2020.5	2020.6 ~ 2021.5		評価	差	評価	差
CO2 排出量	Kg-CO ₂ / 年	116,648	115,880	127,000	112,747	○	-3,133 (-2.7%)	○	-14,253 (-11.2%)
電力使用量	MJ / 年	1,410,600	1,443,840	1,677,400	1,461,731	△	17,891 (1.2%)	○	-215,669 (-12.9%)
7月～9月の平均気温	℃	26.3	26.7	—	26.9	○	0.2 (0.7%)	—	—
7月～9月の購入電力	k W h	34,953	39,624	—	40,913		1,289 (3.3%)		—
燃料	MJ / 年	607,234	569,594	600,600	508,522	○	-61,072 (-10.7%)	○	-92,078 (-15.3%)
(内) ガソリン	MJ / 年	606,330	567,890	—	506,682	○	-61,208 (-10.8%)	—	—
車両台数	台	20	21	—	22		1 (4.8%)		
総走行距離	Km	256,676	274,540	—	242,808		-31,732 (-11.6%)		
ガソリン消費量	L	17,524	16,413	—	14,644		-1,769 (-10.8%)		
燃費	Km / L	14.6	16.7	—	16.6		-0.1 (-0.9%)		
上水使用量	m ³ / 年	1,607	1,021	1,580	1,112	×	91 (8.9%)	○	-468 (-29.6%)
廃棄物排出量	t / 年	40.4	6.5	6.0	6.1	○	-0.4 (-6.2%)	×	0.1 (1.7%)
事務用紙使用量	t / 年	3.8	4.1	3.5	4.1	×	0.0 (0%)	×	0.6 (17.1%)
環境配慮型の技術提案	件 / 年	22	17	22	16	△	-1 (-5.9%)	×	-6 (-27.3%)
地域貢献	箇所 / 年	5	7	5	8	○	1 (14.3%)	○	3 (60%)

電力使用量 排出係数は、0.529Kg-CO₂/kWh とした。

3年間のCO2排出量 実績

項目	単位	実績		
		平成30年6月～ 令和元年5月	令和元年6月～ 令和2年5月	令和2年6月～ 令和3年5月
CO2排出量	Kg-CO ₂	118,608	115,880	112,747
売上高百万円当たりのCO2排出量原単位	t-CO ₂ /百万円	0.074	0.083	0.079

CO2 排出量は、前年比97.3%

電力使用量は、前年比101.2%

燃費については、16.7/L → 16.6/L と横ばいであった。

地域貢献活動は目標件数は達成しているが、コロナ対応のため思いどおりの活動ができなかった。

(4) 環境経営計画の取組結果とその評価

期間：2020年6月～2021年5月

項目		活動内容	担当者	取組結果	評価	評価 ・ 指示
CO2排出量削減	燃料使用量削減	エコドライブの励行	部内安全運転管理者	アイドリングストップ・タイヤの空気圧・不要な荷物を積まない等を行った	○	更に周知し、継続する
		適正な車両整備	総務課	3ヶ月に一度の定期点検・定期的なオイル交換・月に一度の洗車を行った	◎	計画どおり実施されている
		ハイブリッド車の導入を促進	総務課	ハイブリッド車 5台入れ替え	◎	計画以上に実施されている
		ワンボックスカーの活用	事業部	複数台の車での移動を減らすためワンボックスカーを適宜配置する	◎	乗車定員増により効率化された
	電力使用量削減	エアコンの温度設定(冷房28℃ 暖房20℃)	LE委員	エアコンの温度設定をこまめに調節した	○	デマンド監視が効果的であった
		屋上散水(夏期)による電力使用量節減	総務課	水道水を使いすぎないよう、こまめに調節しながら常に濡れている状態にした	◎	良くできており効果があった
		不要時の消灯	LE委員	使用していない部屋の消灯・昼休みの消灯を実施した	○	夜間 チーム毎に区切った消灯が不十分
		照明機器・エアコン・窓の清掃	火元責任者	年末に実施	◎	計画どおり実施されている
		充電式電池を常備し、乾電池の使い捨てを廃止	総務課	主にデジタルカメラやパソコンマウスの乾電池として利用された	○	更に周知し、継続する
		照明の個別スイッチ設置(新社屋)	総務課	照明に個別スイッチを設置し、不要な照明の点灯を抑制する	◎	効果大 継続する
人感センサーでの照明オンオフ	総務課	通路等の照明は人感センサーでオンオフを行い消し忘れを抑制する	○	人感センサーの無いトイレの消灯忘れが目立つ		
水使用量削減(排水量削減)		手洗い・洗い物時の日常的節水の励行	LE委員	適正化の指導	◎	継続する
廃棄物削減		分別ボックスの設置	LE委員		◎	継続する
		裏紙使用	LE委員	コピーの裏紙使用・メモ帳に使用した	◎	ミสปrintの削減も目指すこと
事務用紙使用量削減		新ワークフローシステムの導入により文書の電子化を促進	システム管理責任者		○	電子化の効果が出ている 更に推進のこと
		裏紙使用	システム管理責任者	台帳類をPDF化した 稟議書類を電子化した	◎	大幅な用紙使用量の削減ができた
環境配慮型の技術提案		環境配慮型の設計	部門長	業務を実施中	◎	継続する
		公共構築物の長寿命化に関する調査設計	部門長	業務を実施中	◎	継続する
地域貢献(清掃活動ほか)		各部で、3回／年 実施する	部門長	予定どおり実施した	◎	継続する
		徳島協働の森づくり事業への参加	総務課	H28-02月に美馬市地区のパートナーシップ協定継続中(5年間)	◎	継続する
		エコキャップ運動への協力	総務課	社員へ呼びかけを行いエコキャップ運動に積極的に協力する	◎	継続する
健康経営の実践		社員の健康維持と増進に関する取組み	総務課	運動実践、社内講習、社内スポーツ大会、保健指導等を実施	◎	継続する
		休日出勤・残業時間の削減	全社員	ノー残業デーの実施、代休・振替休日の取得を促進	○	働き方改革法案の完全適合を目指す

次年度の取組内容

期間： 2021年6月 ～ 2022年5月

項目		活動内容	担当者	取組内容	評価	見直し
C O 2 排出量 削減	燃料使用量 削減	エコドライブの励行	部内安全運転管理者	アイドリングストップ・タイヤの空気圧・不要な荷物を積まない等を行う		
		適正な車両整備	総務課	3ヶ月に一度の定期点検・定期的なオイル交換・月に一度の洗車を行う		
		ハイブリッド車の導入を促進	総務課	社有車買い替えの際には原則としてハイブリッド車を選定する		
		ワンボックスカーの活用	事業部	複数台の車で移動を減らすためワンボックスカーを適宜配置する		
	電力使用量 削減	エアコンの温度設定（冷房 2 8℃ 暖房 2 0℃）	L E 委員	エアコンの温度設定をこまめに調節する		
		屋上散水（夏期）による電力使用量節減	総務課	屋上の散水により社屋内部の温度上昇を抑える。		
		不要時の消灯	L E 委員	使用していない部屋の消灯・昼休みの消灯を実施する		
		照明機器・エアコン・窓の清掃	火元責任者	年末に実施		
		充電式電池を常備し、乾電池の使い捨てを廃止	総務課	充電式電池が使用可能な機器には可能		
		照明の個別スイッチ設置（新社屋）	総務課	照明に個別スイッチを設置し、不要な照明の点灯を抑制する		
		人感センサーでの照明オンオフ	総務課	通路等の照明は人感センサーでオンオフを行い消し忘れを抑制する		
サーキュレーター エアコンプロペラファンの導入	総務課	事務室にサーキュレーター ロビーにエアコンプロペラファンを取り付け、空気の循環を図る				
用水使用量削減 （排水量削減）		手洗い・洗い物時の日常的節水の励行	L E 委員	適正化の指導		
廃棄物削減	分別ボックスの設置	L E 委員	ゴミの分別が適性に行えるよう、分別ボックスを設置する			
	裏紙使用	L E 委員	コピーの裏紙使用・メモ帳に使用する			
事務用紙使用量削減	新しいワークフローシステムの導入により文書の電子化を促進	システム管理責任者	社内稟議書類等の紙での回覧を廃止し、電子申請とする			
			ISO関係書類の電子化に取り組む			
	基幹系情報システムの更新による省力化、省資源化		各種の台帳類をPDF化してシステム運用し、紙出力を減らす			
環境配慮型の技術提案	環境配慮型の設計	部門長	設計業務の中で環境配慮型の工法を提案していく			
	公共構築物の長寿命化に関する調査設計	部門長	点検・調査により公共構築物の長寿命化を図る			
地域貢献（清掃活動ほか）	各部で、3回／年 実施する	部門長	※アドプトお遍路さん			
	徳島協働の森づくり事業への参加	総務課	カーボンオフセット			
	エコキャップ運動への協力	総務課				
健康経営の実践	社員の健康維持と増進に関する取組み	総務課	健康診断の受診及び2次検査の受診を勧める			
	休日出勤・残業時間の削減	全社員	ノー残業デーの実施等を行い、残業時間の削減に努める			
	新型コロナウイルス対策	全社員	消毒、三密の回避、アクリルパネル、空気清浄機の全室設置、新たなBCP策定			

※は新しい取り組み

環境関連法規制等の遵守状況

最新版確認日：2021年6月1日

法的義務を受ける主な環境関連法規制は次のとおりである。

適用される法規制	要求事項	遵守状況
環境基本法	・公害防止及び自然環境の保全措置 ・再生資源等の利用 ・環境の保全に関する施策への協力	遵守
グリーン購入法	可能な限りの環境物品の選択	遵守
地球温暖化対策の推進に関する法律	温室効果ガス排出抑制のための措置	遵守
環境配慮事業促進法	事業活動に係る環境情報の提供	遵守
廃棄物の処理及び清掃に関する法律	・委託契約締結、許可証の確認 ・マニフェストの交付と5年間の保存 ・マニフェスト交付実績の報告	遵守
特定家庭用機器再商品化法	特定家庭用機器の適正処分	遵守
フロン排出抑制法	第一種特定製品の適正な運用（定期点検及び簡易点検の実施・記録・廃棄など）	遵守
浄化槽法	浄化槽の適正な運用（保守点検・清掃・法定点検の実施など）	遵守
徳島県脱炭素社会の実現に向けた気候変動対策推進条例	温室効果ガスの排出を抑制する「緩和策」と、気候変動の影響に適切に対処する「適応策」を両輪とした気候変動対策	遵守
徳島県生活環境保全条例	騒音発生施設の設置届	遵守
徳島県環境基本条例	廃棄物の適正な処理及び環境への負荷低減のための努力	遵守
徳島市公害防止条例	公害防止のため必要な措置と、市が行う公害防止に関する調査及び施策への協力	遵守
北島町公害防止条例	公害防止のため必要な措置と、町が行う公害防止に関する調査及び施策への協力	遵守
消防法	消防用設備等の点検と報告（火災報知器）	遵守

環境関連法規制等の遵守状況の定期評価の結果、環境関連法規制等の逸脱はありませんでした。

また、過去3年間にわたって違反や訴訟もありませんでした。

代表者による評価と見直し・指示

*2020 年度の環境活動結果

- ① CO₂ 排出量については、前年度比 97.3%、目標比 88.8%とクリアすることが出来た。
- ② 上記にかかわる、電力使用量については前年度比 102.2%、目標比 87.1%と目標はクリアしたが、前年実績をわずかに上まわった。
※ 新社屋増築を見越して設定した目標であるが、この 3 か年予想より少ない使用量で推移しており目標値の見直しが必要である。
- ③ 新型コロナウイルス感染防止対策のために Web 会議による業務打ち合わせが増加したことにより、ガソリン消費量は前年度比 89.2%と大幅に減少し、燃費は前年の 16.7Km/L から 16.6Km/L とほぼ変わらなかった。(ハイブリッド車は、15 台/23 台)
- ④ 上水使用量については、前年度比 108.9%と増加したが、目標比 74.4%と大きくクリアしている。※目標との差が大きすぎるため、目標値の見直しが必要である。
- ⑤ 廃棄物排出量については、前年度比は 93.8%と減少したが、目標比は 101.7%とわずかにクリアできなかった。
- ⑥ 事務用紙使用量については、前年度比はほぼ横ばいであるが、目標比は 117.1%と大きく及ばず、更なるペーパーレス化が望まれる。
- ⑦ 環境配慮型の技術提案については、環境配慮型の設計案件は減少傾向にあるが、公共事業の施策が防災・減災、老朽化・長寿命化へとシフトしており、その関連業務が多くなっている。
- ⑧ 地域貢献活動は、清掃(アドプト)・献血・エコキャップ運動への協力など、積極的に取り組んでいる。しかし、新型コロナウイルス感染防止の観点から十分に活動できていない状況もあり、次年度の活動についても懸念されるところである。
- ⑨ 健康経営への取り組みも積極的に推進し、社員の健康を考えた経営方針が評価され、経済産業省・日本健康会議が主催する「健康経営優良法人(中小規模法人部門)」において、2017 年、2018 年、2019 年、2020 年に引き続き 2021 年は「健康経営優良法人 2021 (中小規模法人部門 (ブライト 500))」認定された。

「社員の健康は会社の健康」をスローガンにさらに取り組みを進めてもらいたい。

以上より、全社員による環境活動は順調に成果を挙げていると評価する。

*「環境経営方針」[環境経営目標][実施体制] 及び「EMS (環境経営システム)」

- ① 有効に機能していると評価されるので継続して運用する。

*今後の取り組み

- ① 当社業務範囲は、オフィス及び現場に於ける種々の環境負荷要因があり、引き続き広範な環境活動に取り組むこととする。
- ② 活動状況の一層の見える化を行い、全社員の協力のもとに取組みの充実を図ることとする。
- ③ 健康管理を経営視点で考え、戦略的に取り組む健康経営を推進し、生活習慣病対策、残業時間の縮減、休日出勤の制限等様々な施策を実施しているところであり、社員の健康がひいては環境経営につながるものと確信し、新型コロナウイルス感染防止対策をしつつ継続して推進することとする。
- ④ 公共構造物の長寿命化に関する調査設計業務は社会全体の省資源化に資するものであり、業務の目的を十分に理解のうえ進めることとする。

2021 年 6 月 7 日

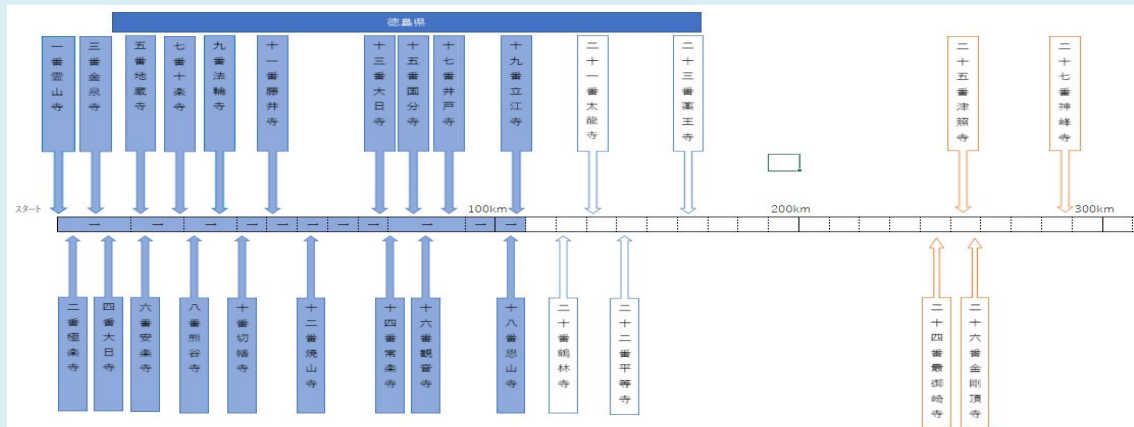
(株)フジタ建設コンサルタント

代表取締役 藤田達也

継続している活動



エアコン効率化（サーキュレーター・プロペラファン）



フジタアドプトお遍路さん（会社の健康は社員の健康から）



屋上に打ち水



徳島協働の森づくり事業に参加



各種 資源の再利用・分別に関する表示



社内の至るところにこのような表示があります

環境配慮型の設計・調査業務

1	南部総合県民局 県土整備部(阿南庁舎)	福井川 環境調査業務
2	県土整備部 東部県土整備局(徳島庁舎)	園瀬川 環境調査業務
3	県土整備部 東部県土整備局(徳島庁舎)	正法寺川 環境調査業務
4	南部総合県民局 県土整備部(阿南庁舎)	大津田川 環境調査業務
5	南部総合県民局 県土整備部(美波庁舎)	善蔵川 環境調査業務
6	西部総合県民局 県土整備部(三好庁舎)	引地谷 魚類調査業務



福井川 環境調査業務



大津田川 環境調査業務



善蔵川 環境調査業務

公共構築物の長寿命化に関する調査設計業務

1	県土整備部 東部県土整備局(徳島庁舎)	徳島鳴門線橋梁点検業務
2	県土整備部 東部県土整備局(徳島庁舎)	新町川公園 公園施設長寿命化計画(2)
3	阿波市	阿波市橋梁点検調査業務
4	吉野川市	吉野川市橋梁点検調査業務
5	北島町	北島町橋梁点検業務
6	美馬市	美馬市橋梁定期点検業務
7	美波町	美波町橋梁定期点検業務
8	勝浦町	勝浦町橋梁定期点検業務
9	板野町	板野町橋梁定期点検業務
10	藍住町	藍住町橋梁定期点検業務

	
橋梁点検（橋梁点検車）	橋梁点検（船上）

	
橋梁点検（地上）	橋梁点検（梯子）

	
新町川公園 公園施設長寿命化計画(2)	

社会貢献活動

地域活動の内容	実施回数	場所
「アドプト・プログラム吉野川」	年/3回	今切川 左岸 応神大橋から下流へ600m区間
「ボランティア・サポート・プログラム徳島」	年/3回	一般国道11号 6.30kp～3.90kp上下
「徳島県OURロードアドプト事業」	年/6回	県道徳島鳴門線 北島町鯛浜地先 0.13km
「北島町アドプトプログラム」	年/3回	北島町鯛浜字西ノ須地先～大西地先 及び水神社公園
88クリーンワーク四国	年/1回	
徳島協働の森づくり事業	1箇所	美馬市
献血活動	年/2回	
会社周辺の清掃活動	年/12回	会社周辺の歩道等



アドプトプログラム吉野川



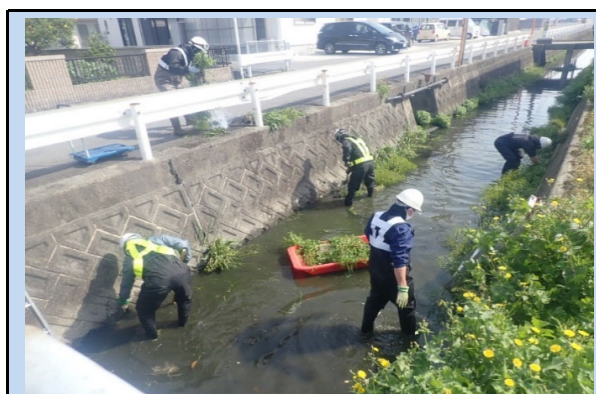
北島町アドプトプログラム



「徳島県OURロードアドプト事業」(鳴門池田線)

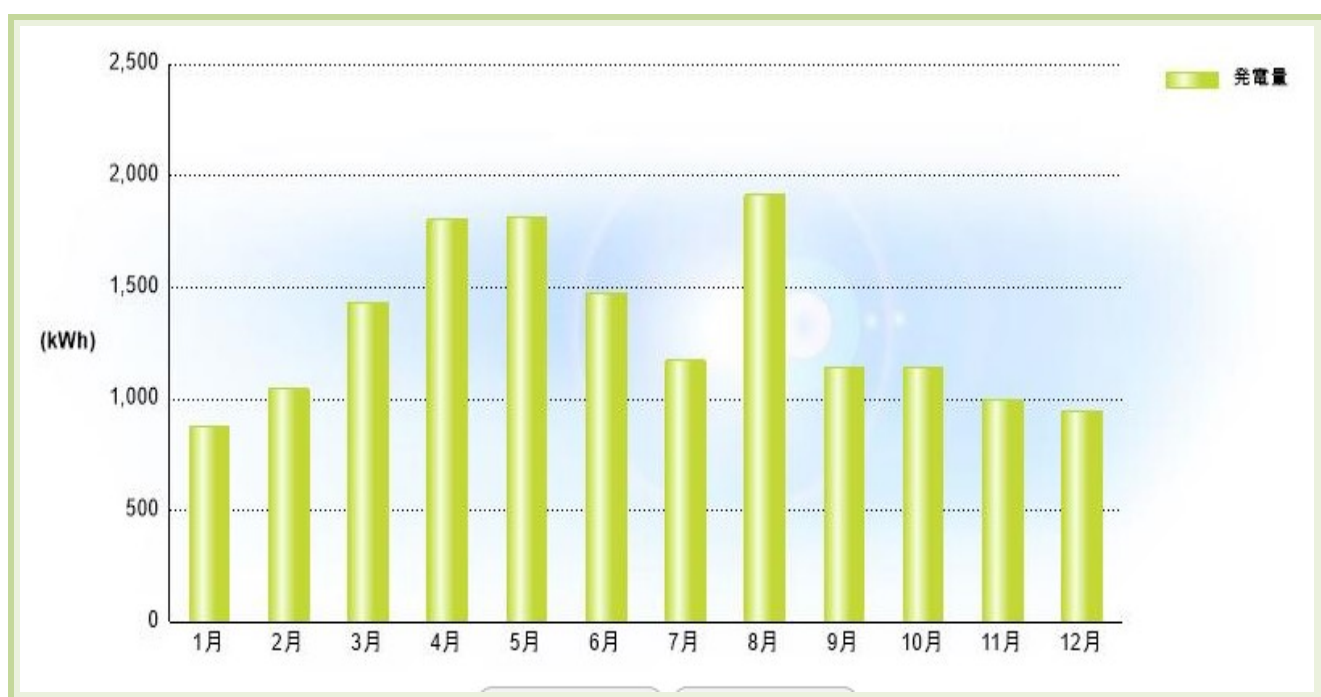


年2回 献血車がやってきます



いつもお世話になっている協力会社のR社さんが、業務の空白日に町内の水路の清掃をボランティアで実施してくださいました。ありがとうございました。

太陽光発電施設



発電状況報告

■ グラフ表示

2021 年 5 月 の診断レポート		お客様宅のシステム容量は 11.8 kW	
お客様宅の発電量[kWh] ()内は昨年値	診断完了日(*1)	システムの状況	環境貢献度(*2)
1,361 (1,813)	2021.6.1	診断の結果、太陽光発電システムは正常に稼働しています。	CO2排出削減量 687.9 kg-CO2 成木の吸収量 49.1 本分 

(*1) 当月の診断レポートは、翌月の25日頃に公開いたします。

(*2) CO2の排出削減量は1kWhあたり0.5055kg-CO2で算出しております。成木1ヶ月の吸収量は、林野庁「地球温暖化防止のための緑の吸収対策(H14)」による50年生のスギ1本あたり1年間に約14kgのCO2を吸収するとして換算しております。また表中の大きな木のマークは成木10本分、小さな木のマークは成木2本分を示します。

健康経営



わが社は2017年に「中小規模法人部門」において健康経営優良法人に認定され、2021年度は、その中でも優秀な上位500法人に対する（ブライト500）に選定されました。

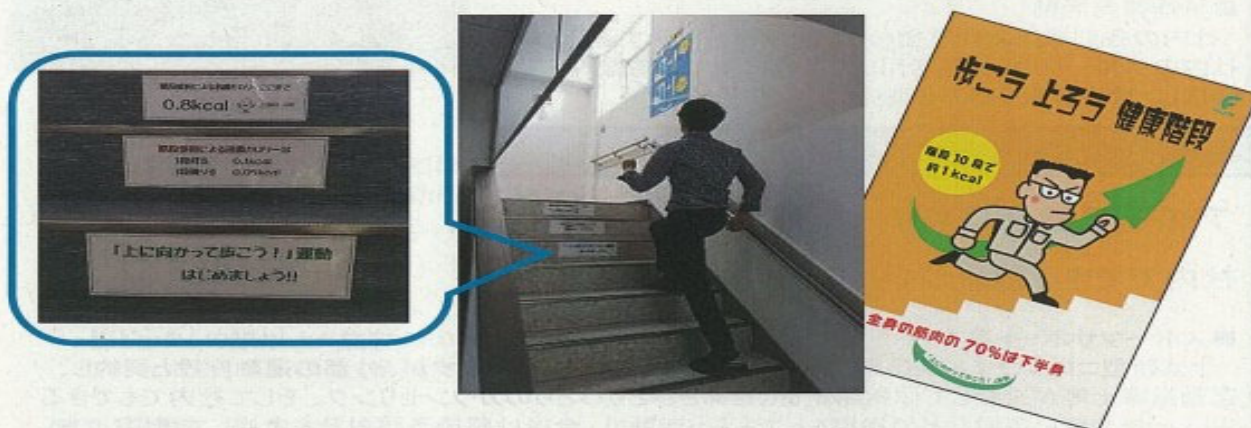
取り組み事例

■「トイレチェンジ」運動

「トイレチェンジ運動」とは、トイレを使用する際に一番近いトイレではなく、階の違うトイレや離れた場所のトイレを利用して、少しでも歩く機会を増やそうという取り組みです。

■「上に向かって歩こう」運動

「上階に行くときはなるべくエレベーターを使用しない、昼休みや終業後に階段の昇降をする」など、社内の階段を健康づくりに利用するという取り組みで、階段の踊り場やステップにポスターやステッカーを貼って、消費運動量などがわかるようにしています。



野菜の摂取不足や栄養補助のための取り組み

■フジタ朝市

野菜づくりをしている社員や、家で食べきれない野菜や果実をいただいた社員などが、出勤前に社員通用口などに置いてくれて無料で他の社員に配布してくれる、まるで朝市のような風景がたびたびあり、社員の野菜摂取やコミュニケーションにも役立っています。

■フジタ食の応援団

朝食欠食時や残業中などの栄養補填のために、大塚製薬の栄養補助食品を社員に格安で提供しています。



■その他

新型コロナウイルス感染症予防対策として、会社は発生段階別BCPを策定し、応接室や食堂にはアクリル板を設置するなど職場環境を整えるとともに、社員たちは毎朝検温、そして朝と昼の2回、社員全員で社内を消毒しています。